

第14回 網走開発建設部 総合評価審査委員会 審議概要

開催日及び場所	平成25年 3月22日(金) 網走開発建設部 第1会議室	
委員	黒瀧 秀久(東京農業大学教授)、高橋 清(北見工業大学教授)、 三上 修一(北見工業大学教授)、渡邊 康玄(北見工業大学教授) (五十音順)	
議事	<p>1. 総合評価落札方式の実施方針(案)について</p> <p>2. 平成24年下期総合評価落札方式(工事・業務)の実施状況について</p> <p>3. 個別審査</p> <p>    工事の審査について</p> <p>        ①常呂川改修工事の内 常呂地区河道掘削外工事(簡易型)</p> <p>        ②網走港防波堤(南)ケーソン製作その他工事(簡易型)</p> <p>    業務の審査について</p> <p>        ③網走地域 ダム施設機能診断調査検討業務(簡易公募・総合評価標準型)</p> <p>        ④興部道路事務所 一般国道238号外工事監督支援業務(一般競争・総合評価標準型)</p>	
委員からの意見・質問、それに対する回答等		
意見・質問	説明・回答	
<p>1 総合評価落札方式の実施方針(案)について</p> <p>    施工能力評価型のヒアリングによる掛け率の目安はあるのか</p> <p>2 平成24年下期総合評価落札方式(工事・業務)の実施状況</p> <p>    特になし</p> <p>3 個別審査</p> <p>①常呂川改修工事の内 常呂地区河道掘削外工事(簡易型)</p> <p>    D者が同種工事实績の要件により失格となっているがどのような判断か</p> <p>    入札価格と評価値の関係は如何に</p>	<p>技術者の監理能力を3段階で評価し、係数を1.0、0.5、0.0としている。</p> <p>本工事の同種工事の要件は「土工を含む河川工事の施工実績」としているが、河川工事でない実績が提出されたため、契約締結資格が無いと判断した。</p> <p>加算点に施工体制評価点(30点)と基礎点(100点)を合算した点数を入札価格で除した数値を評価値とし、評価値が最大となった者を落札者とする。</p>	

委員からの意見・質問、それに対する回答等	
意見・質問	説明・回答
<p><b>②網走港防波堤（南）ケーソン製作その他工事（簡易型）</b>            オーバースペック導入型とは何か</p> <p><b>③網走地域 ダム施設機能診断調査検討業務（簡易公募・総合評価標準型）</b>            同種・類似業務の要件は、「農業用ダムの機能診断調査又は維持管理更新に係る業務の実績」となっているが、業務名にダムと記載されていない業務も実績の対象としているのか。</p> <p><b>④興部道路事務所 一般国道238号外工事監督支援業務（一般競争・総合評価標準型）</b>            業務理解度の加点評価について、国道名、事務所名などを具体的に記載しているE社と、その記載がないF社を同様に評価をしているのか。</p>	<p>過度な費用がかかるような技術提案などはオーバースペックとして加点評価の対象としないこととしている。</p> <p>港湾漁港部門では、このオーバースペック等の理由により加点評価しない技術提案の事例を公表し、これを基に技術提案してもらうこととしており、これをオーバースペック導入型としている。</p> <p>ダムに係る業務内容が含まれていることをアグリリス等で確認している。</p> <p>F社の提案内容は、業務の目的、条件、内容等が十分理解したものになっていると判断し、同様に評価している。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>